2023年5月12日

各　位

会 社 名　サンコール株式会社
代表者名　代表取締役　　　　大谷　忠雄
（コード：5985、東証プライム）
問合せ先　取締役　常務執行役員
企画・管理部門長　金田　雅年
（TEL. 075-881-5280）

通期連結業績予想値と実績値との差異及び配当予想の修正に関するお知らせ

2023年２月10日に公表致しました「2023年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」における2023年３月期の連結業績予想値と本日公表の実績値において、下記のとおり差異が発生しましたのでお知らせいたします。

１．連結業績予想値と実績値との差異について

（１）2023年３月期通期　連結業績予想値　（2022年４月１日～2023年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 53,000	百万円 600	百万円 1,300	百万円 1,000	円.銭 33.29
実　績　値（B）	53,399	304	848	557	18.57
増 減 額（B－A）	399	△295	△451	△442	―――
増 減 率（　%　）	0.8	△49.2	△34.7	△44.2	―――
（ご参考）前期実績（2022年３月期）	47,438	649	1,022	904	29.34

（２）修正の理由

連結売上高につきましては、自動車分野の回復が想定より遅れていること、電子情報通信分野では各国の金融引き締めや景気後退懸念により、データセンター向け投資が抑制され、ＨＤＤ用サスペンション、通信関連の売上が下期に入り減少したことを織り込んだ前回発表予想どおりに概ね推移いたしました。

しかし、営業利益につきましては、自動車分野でエネルギーコスト上昇分の価格転嫁不足、ＨＤＤ用サスペンションでの新機種増産準備にかかる費用の増加及び訴訟対応に要する弁護士費用･その他の費用などの影響から、前回発表予想を下回る結果となりました。

また、営業外損益につきましては、持分法投資利益、為替差益が前回発表予想を下回り、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の連結業績予想値と実績値に差異が発生する結果となりました。

２．配当予想の修正について

（１）2023年３月期通期　配当予想　（2022年４月１日～2023年３月31日）

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期　末	合　計
前回予想	円　銭 —	円　銭 —	円　銭 —	円　銭 １４．００	円　銭 ２５．００
今回修正予想	—	—	—	９．００	２０．００
当期実績	—	１１．００	—	—	—
（ご参考）前期実績 (2022年３月期)	—	９.００	—	１１.００	２０.００

（２）修正の理由

当社は2022～2024年度中期経営計画GLOBAL GROWTH PLAN 2024(GGP24)における基本方針として、資本収益性とBSマネジメントを意識した経営の推進を掲げております。ROE9.0%を超過するまで配当性向75%を維持する配当方針は継続しておりますが、2023年３月期通期連結業績予想値と実績値との差異が発生したことに伴い2023年３月期通期配当予想を修正させていただきます。

以　上